

パルプ、紙、
紙加工品
製造業

無限の可能性を秘めたダンボールで 長崎を元気にしたい。 有限会社 平尾ダンボール

昭和42年創業のダンボール製造・加工業者。農水産物、加工食品、機械・電子部品などを県外へ送り出す輸送箱、またお中元やお歳暮などに使用するギフト箱をメインに製造している。近年では長崎をベースとしたペーパークラフト商品や什器物の開発・販売にも力を入れており、「紙から未来へ」「長崎から世界へ」をテーマに、ダンボールの可能性を追求している。

補助事業の内容と成果

特殊ダンボールを使った 個人消費者向け大型什器の小ロット商品 製造販売による売上拡大事業

事業のきっかけ

安全、軽量、安価、簡単な処分廃棄など、ダンボールのメリットが注目される中で、消耗品となる輸送箱以外にも個人消費者向けの商品を展開するため、設備投資を行った。

事業内容・成果

今回導入したのは、総合包装設計ソフトウェアとカッティングマシン。それまで試作品の設計は外注していたが、これらの導入により、新入社員でも簡単に作図・製作ができるようになった。そのため翌日にはクライアントに試作品を提案できるようになり、契約までの行程が迅速になった。

また様々な商品展開が可能になったことで、顧客の幅が広がったのも大きな成果。幼稚園や保育園からは遊具、病院からは特殊便座、エクササイズ業界からは外反母趾をケアする器具など、これまでとは全く異なるターゲットを開拓することができた。さらに消耗品である輸送箱は、価格競争に陥りがちだが、オリジナル商品を開発できるようになったことで、価格だけではなく品質そのもので勝負できるようになった。

今後の展望

輸送箱とオリジナル商品の両輪で事業を拡大していきたい。カッティングマシンはダンボール以外にもハニカムボードや発泡フォーム、プラスチックゴムなど様々な素材に対応しているため、まだまだ新しい商品展開が可能である。これまで以上にアイデアを駆使し、より付加価値の高いものを提案することで、様々なニーズに応えられる企業を目指していきたい。

ものづくり補助金活用

クライアントに提案する
試作品の作図・
製作時間 **3日 ▶ 5分**

それまで外注していた試作品の作図・製作が自社で簡単にできるようになった。スピーディーな営業活動で売上も伸びた。



有限会社 平尾ダンボール

長崎市矢上町52-3
TEL.095-838-2063
FAX.095-838-2062
<https://hirao-db.wixsite.com/mysite>
✉ hirao-db2@arion.ocn.ne.jp
代表取締役社長 / 平尾武次
設立日 / 1967年7月31日
資本金 / 5,000,000円
業種 / パルプ、紙、紙加工品製造業
従業員数 / 19名